

2012年度 第5回静岡県教育研究のつどい

記念講演会

「“弱さ”の持つ力と可能性を育む教育」

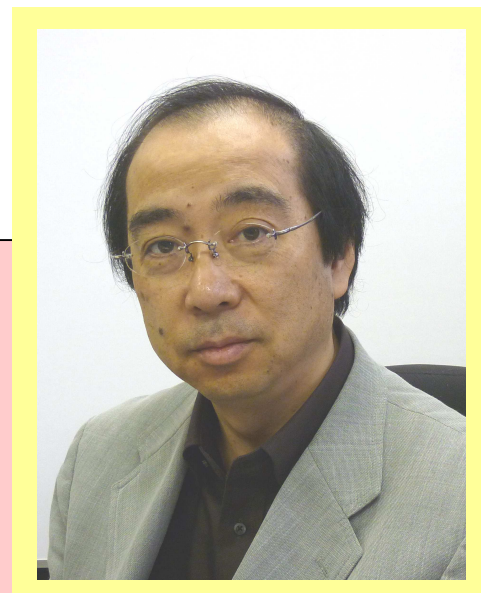
講師 向谷地 生良 (むかいやち いくよし)

◇日 時：11月11日(日) 10:00~12:00 (9:30 受付)

◇場 所：浜松学院大学

◇参加費：一般 500円 教員 1,000円 学生 無料

向谷地さんは、精神障がい(統合失調)を持つ人たちが互いにケアし合い、いっしょに働きながら共同生活を営む北海道・浦河町にある共同体「べてる」の創設者で、精神福祉の分野で今、日本中から注目を集めています。特に、「べてる」の住人が自分自身を研究対象とする「当事者研究」がおもしろい。自分の弱さを出し合い、他者との対話や応答の中から自分自身を再発見し、それを力に変えていく、もしかしたらこれは「べてる」の住人たちだけでなく、どんな人にもあてはまることかもしれません。



向谷地生良 (むかいやち いくよし) プロフィール

ソーシャルワーカー(メンタル・ヘルス分野)
青森県十和田市出身

1978年、大学を卒業後、町の古い教会堂を、拠点として精神障害を持つメンバー、町民有志と共に、起業を通じた地域活動拠点「浦河べてるの家」を設立。2001年に「当事者研究」を創案し、メンバーの自助、スタッフの相談支援に取り入れる。2003年4月より、北海道医療大学で教鞭をとりながら、全国各地をメンバーとともに飛び回る毎日を送っている。2011年9月には、当事者研究をテーマにした韓国での招待講演を行う。1997年北海道精神保健功労賞受賞。べてるの家は1999年度日本精神神経学会第1回医療奨励賞、2003年毎日福祉賞及び保健文化賞、2005年札幌弁護士会人権賞を受賞。主な著書に「べてるの家の非援助論」(共著・医学書院 2002)、「べてるの家の当事者研究」(共著・医学書院 2005)、「安心して絶望できる人生」(共著・NHK出版 2006)、「べてるの家の恋愛大研究」(共著・大月書店 2010)他多数